

余丁校通信



5月の生活目標

時間を守って行動しよう。

健やかな成長を願って

副校長 木田 那奈

桜の開花がとても早かった今年。校庭は、擁壁の改修工事で道路側の樹木がなくなってしまいました。校舎側の木々は、新緑の季節へ移り変わってきました。入学を迎えた1年生、そして1学年ずつ進級した2～6年生は、新しい担任やお友だちとともに、毎日楽しく過ごしています。

4月21日に行われた1年生を迎える会では、代表委員会を中心に、2年生は勉強について（あさがおの種をプレゼント）、3年生は給食について、4年生は学校の約束、5年生は行事について、6年生はこまったときはどうしたらいいの?といった内容の出し物をしました。各学年が思考を凝らし、学校生活を楽しく送れるような1年生を迎える出し物でした。上級生として、立派に自分の役割を果たしていた姿に感心しました。また、1年生の挨拶では、大きな声で「1年生になったら」を歌い、元気をもらいました。

さて、先日、ある川沿いをランニングしていると色とりどりの鯉のぼりが多数風に吹かれて泳いでいました。とても爽やかな気持ちになり、なんだか嬉しくなりました。都内では、なかなか見かけなくなってきた鯉のぼりですが、余丁町幼稚園の園庭でもゆらゆらと気持ちよさそうに泳いでいます。

鯉のぼりは端午の節句に男の子の成長を祝って飾られ、『健やかな成長と立身出世を願う意味』が込められています。江戸時代に庶民の間に広まったのが始まりとされ、日本独自の風習ですが、鯉のぼりの由来には、中国の故事「登竜門」が大きく関係しているそうです。（ここでは、「登竜門」に関しては省きますが、興味がある方は、調べてみてください。）どんな環境も乗り越えて、力強く生き抜くことができますように・・・という願いを込めて鯉のぼりが飾られています。今は男子に限らず、子どもたちみんなの健やかな成長を祈って飾られています。

入学・進級から1か月が経ちました。今年度も子どもたちの健やかな成長を願って、本校職員一同、教育活動を進めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

全校遠足について

特別活動部 吉田 衣里

5月19日（金）に、戸山公園への全校遠足を行います。昨年度は難しかったたてわり班ごとのお弁当での昼食や、午後のたてわり班遊びを行う予定です。午後までの活動としたこと、全校での公共交通機関の利用が未だ難しい状況であると判断し、今年度も戸山公園に決定しました。

たてわり班でオリエンテーリングを行うことを通して、異学年で協力して楽しめるような内容を計画しています。また、地域協働学校の方にも御協力いただきオリエンテーリングに参加していただきます。

たてわり班活動は、6年生の班長を中心に行います。6年生は、毎回活動に向けて、各班担当の教員と打ち合わせを行い、事前に全学年が楽しく交流できる遊びを考えています。6年生だけでなく一人一人が学年に応じた役割を果たし、「思いやり・協力・自主性」などの態度を育成することをねらいとしています。思い出に残る全校遠足にしていきたいと思います。

自らすすんで、豊かな毎日を

生活指導主任 中村 伸之

余丁町小学校の子どもたちは活気にあふれています。特に高学年児童を中心に、登校時に元気にあいさつをする姿に感心しています。

本校では「自らすすんで気持ちのよいあいさつができる子」を目標に指導しています。あいさつは人と人をつなぐ、コミュニケーションの入口だと言われます。真心のこもった気持ちのよいあいさつをきっかけに、子どもたちがより良い人間関係を築き、心身ともに健康で明るい生活を送れることを目指しています。また、「こんな学校生活を送っていきたい。」という子どもたちの気持ちやアイデアも大切にしていきたいと考えています。

ご家庭でも引き続きご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。